

コーポレート編

当社は、社会にとって価値のある製品・技術・サービスを提供することで、ステークホルダーの皆様との信頼関係を築き、利益を上げられるよう努めています。また、そのための基盤として、遵法性、透明性、健全性を確保した経営体制を確立しています。

経済性報告

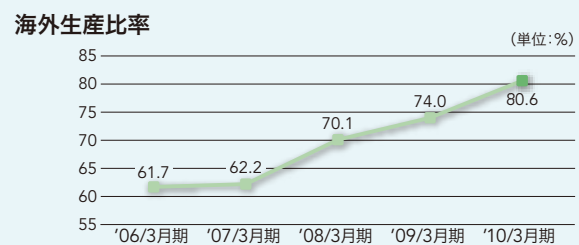
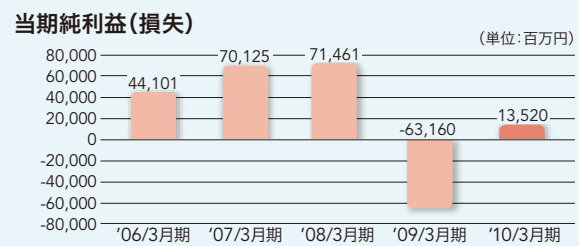
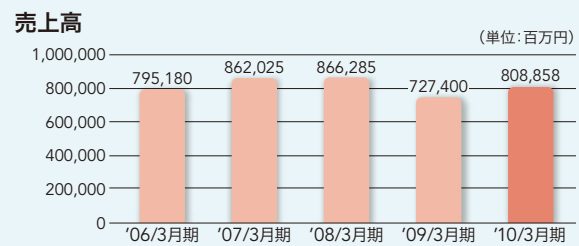
株主・投資家情報 → <http://www.tdk.co.jp/ir/index.htm>

事業の概要

TDKグループは、世界初の磁性材料フェライトの工業化を目的として1935年（昭和10年）に設立され、「創造によって文化、産業に貢献する」という創業の精神に基づき、電子材料、電子デバイス、記録デバイスおよび記録メディア等の製品の研究開発と商品化に取り組んでいます。

今後も活力あふれる会社であり続けるために、常に新しい発想とたゆまぬチャレンジ精神によって、お客様、取引先、株主、地域社会、従業員というすべてのステークホルダーに、より高い企業価値を提供し続ける企業でなければならないと考えています。

主要財務指標の推移



2010年3月期 業績概要

2010年3月期における、TDKグループの連結業績は、売上高8,088億58百万円（前期7,274億円、前期比11.2%増）、営業利益257億74百万円（前期は543億5百万円の損失）、税引前当期純利益219億7百万円（前期は816億30百万円の損失）、当期純利益135億20百万円（前期は631億60百万円の損失）、1株当たり当期純利益金額104円82銭（前期は489円71銭の損失）となりました。

製品別業績概要

TDKグループの事業分野は、受動部品、磁気応用製品、その他の3つの製品区分で構成されます。

2010年3月期製品別売上の概要

受動部品

売上高: 364,805百万円 構成比: 45.1%

前期比27.3%の増収となりました。当セグメントすべての事業で売上高は増加。各事業の売上高の増加要因は、コンデンサ事業は産業機器、インダクティブ・デバイス事業は自動車、高周波部品事業は通信機器、圧電材料部品他の事業は自動車および産業機器の各市場向けでの増収です。



磁気応用製品

売上高: 383,740百万円 構成比: 47.4%

前期比3.6%の増収となりました。電源、マグネット、記録メディアの各事業で売上高は減少したものの、HDD用ヘッドを主要製品とする記録デバイス事業が増収となり、当セグメントを牽引しました。



その他

売上高: 60,313百万円 構成比: 7.5%

前期比14.5%の減収となりました。エネルギーデバイス事業の売上高減少が要因です。

